

第24回全九州小学生バレーボール大会出場 6月27日(土)、28日(日)

全日本バレーボール小学生大会熊本県大会が山鹿市鹿本体育館で開催されました。菊池ジュニア男子クラブは準優勝を勝ち取ることができ、8月28日(金)～30日(日)に大分県で開催された九州大会へ出場しました。

同クラブ会員数は小学生12人で、水曜日と土曜日に練習をしています。バレーボールに興味のある男子小学生を随時募集中です。

問い合わせ先

菊池市バレーボール協会菊池ジュニア男子クラブ
(山口) ☎090(9586)0244



菊池ジュニア男子クラブの子どもたち

旭志小児童「一人暮らしの人」へ花配布!! 7月4日(土)

旭志小学校(宮川淳一校長)の6年生が、地元の70歳以上で一人暮らしの人84人に花を届けました。同校の2年生が総合学習の時間を利用して「サルビア」をプランターに定植しましたが、暑さで花が弱ってしまった為「千日紅」と植え替えました。当日は、各行政区に分かれ、自治公民館長さんの指導のもと配布しました。花には「私が今、がんばっていることは水泳です。これからも元気でくださいね。」などのメッセージが添えられました。後日、花を届けたところから電話や手紙で感謝の気持ちが多数寄せられました。



プランターに定植中の子どもたち(2年生)

J A 菊池から食と農に関する補助教材を贈呈 7月2日(木)

菊池地域農業協同組合(川口司代表理事組合長)から、昨年に引き続き小学生を対象とした補助教材が贈呈されました。

この補助教材は、JAバンク(農協、信用農業協同組合連合会、農林中央金庫)が、食農教育応援事業として次代を担う子どもたちに農業についての理解を深めてもらうことを目的に、全国の小学校に贈呈しているもので、菊池市内の小中学校5年生全員が配布されました。今後、各小中学校で社会科や理科などの授業で活用されます。



授業で教材として使う小学生たち

今年こそ育て! ホタルの幼虫 7月7日(火)

七城中学校(宮川伊十校長)の3年生約20人が、中庭のピオトープ『夢のせせらぎ』にゲンジボタルの幼虫200匹を放流しました。この幼虫は、岩瀬前川区の「ホタルを育てる会」からいただいたものです。

同中学校では、学校の側を流れる天神川で「ホタルを呼び戻そう」という取り組みを行っており、今年3月末に総合的な学習の時間を使ってピオトープを自分たちで作り、ホタルの餌となるカワニナを育てています。



ホタルの幼虫を放流する生徒たち

残していきたいものがある
変わってほしくないものがある
伝えていきたいものがある
しっかりと未来へ

菊池遺産募集

問い合わせ先 企画振興課企画振興係

菊池の豊かな自然や伝統ある文化を未来へ受け継いでいく「菊池遺産」を募集します。

推薦対象
菊池市内にある有形、無形の伝統ある文化や豊かな自然などの地域で誇るべき宝で、建造物、史跡、名所、芸能、自然、風景、食文化などあらゆるものが対象で、次のいずれも満たすものが対象です。
・菊池を特徴付け、将来に残す価値があるもの
・地域住民などにより保護されているもので、認定以後も保護されることにも地域の振興に活用されるもの

推薦者 行政区や各種団体など
※個人や宗教団体または、政治的な目的をもつ団体は除きます。

推薦書類
次の書類を提出してください。なお、複数の場合はそれぞれ作成し、提出してください。
・推薦書
・位置図
・写真その他参考資料
・所有者などの同意書
推薦書および同意書については、応募先に設置しています。またホームページからもダウンロードできます。

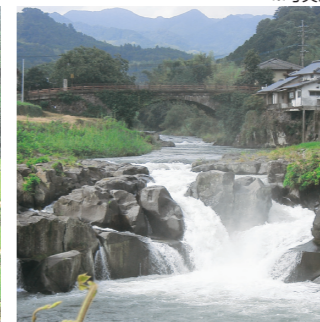
募集期間 9月1日(火)～10月16日(金)

応募先 企画振興課または各総合支所総務振興課

※写真はイメージです。



産業遺産



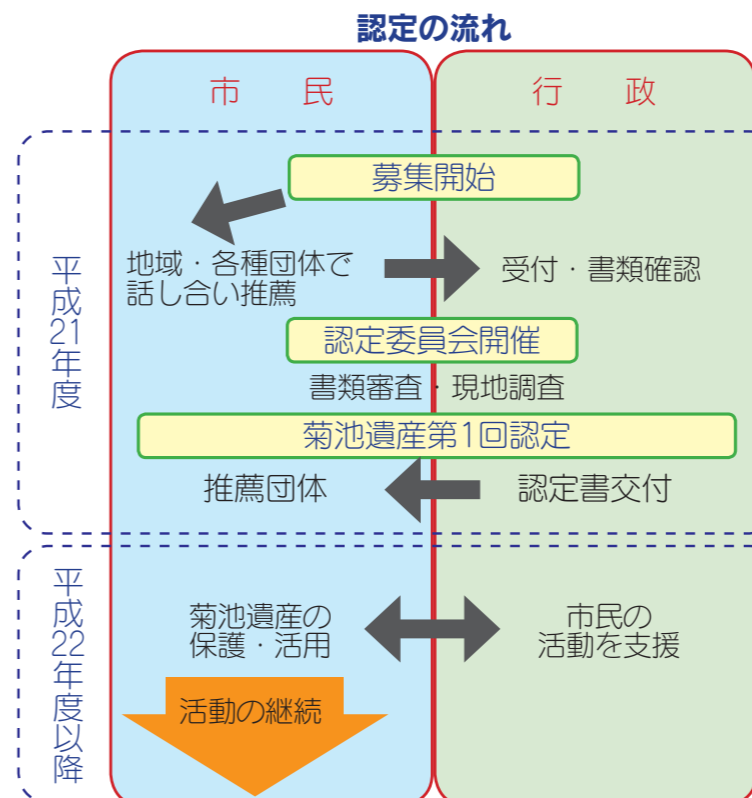
複合遺産



無形文化遺産



自然遺産



どのように認定されるの?
菊池遺産の認定は、行政区や地域づくり団体などからの推薦を受けて、それを市民の人たちで構成する菊池遺産認定審査委員会が必要審査を行います。委員会が必要審査を満したものが菊池遺産に認定され、市長が認定書を交付します。

市役所はどのような支援をするの?
菊池市では、「菊池市地域づくり推進補助金」による支援を行います。この補助金による支援は、基本的に菊池遺産の修復に伴う原材料を対象としています。また、無形文化遺産に分類される伝統芸能などで使用する物品なども対象になります。ただし、必要以上の修復や新たに設置を行うような費用などは、補助対象外となります。